

「びっくり！コンペ」審査員講評

本校生のスタッフが、審査会当日に審査員の方々から講評をお聞きし、まとめたものです。

（青木千尋氏）米沢市教育委員会社会教育課

- ・昨年よりも参加者が増えたことで、年代の幅も広がり、様々な意見が集まったことが良かった。
- ・高校生になると、実用性のあるユニークなアイデアも多く、また詳しい実践方法なども記載されているものが多かった。
- ・地域や社会全体の問題に、若い世代が向き合うことができる、こうした企画が素晴らしい。大人にはない新たな考え方や、柔軟な発想力を得ることができる。
- ・若い人たちには、考えたアイデアを、今後どうしたら実践できるかを考えたり、実際に行動に移すことで、より可能性を広げてほしい。

（相田隆行氏）米沢市企画振興部地域振興課

- ・全部おもしろかった。
- ・身近に中高生が感じている地域の課題が見え、その課題の解決法が若者らしいものだった。
- ・自然と対話したいという気持ちが分かった。また、山形県は自然が身近にあり、それを生かしたアイデアが多かった。

（高橋洋氏）米沢ものづくり振興協議会

- ・身近な問題を自分視点で解決しようとする姿勢が多くあった。家庭内のことから、雪・虫のことなど、テーマが身近にあって楽しかった。中には、地域性を生かし、自然や観光に関わるアイデアもたくさんあり、楽しく採点できた。
- ・アイデアだけに終わらず、少しでも自分で行動を起こし、ふるさとの発展に力を貸してほしい。そして、地域の大人たちをびっくりさせてほしい。